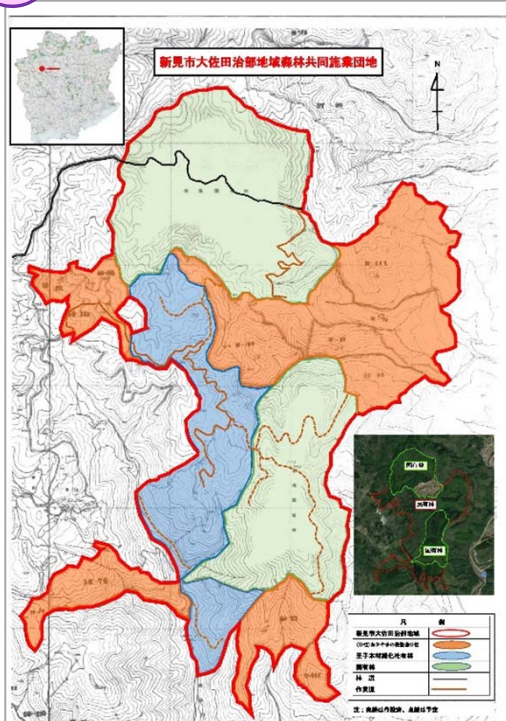


# 近畿中国局フォレスターNEWS

## 新見市大佐田治部（おおさたじべ）地域森林共同施業団地の協定を締結（岡山県）



※森林共同施業団地とは、森林管理署等と地方自治体、民有林所有者等が、森林整備推進に関する協定を締結し、民有林と国有林が隣接する地域の森林において、双方が連携して路網の整備や間伐等の森林施業を進める仕組みです。

3月28日、岡山森林管理署は、新見市大佐田治部地域森林共同施業団地の協定を締結し、民有林と国有林が連携して林業の低コスト化を目指すこととしました。

この協定は、公益社団法人おかやまの森整備公社、王子木材緑化株式会社、岡山森林管理署の3者で、区域面積は、民有林114haと赤滝国有林93haの合計207haとなっています。

協定期間は、高梁川下流森林計画区第5次地域管理経営計画の期間に合わせて、平成30年4月1日から平成33年3月31日までとなっており、同計画の樹立に合わせて更新を行います。

また、協定相手方からは、「それぞれが森林作業道を連結することにより、間伐等の計画的な森林整備が図られる。」と、協定締結に期待される効果・メリットが具体化していくことなどの意見を頂きました。

この協定により期待される効果としては、民有林と国有林が連携することによって、民有林の既設の作業道から別の民有林や国有林へ作業道を連結して作設するなど路網密度を充実させることにより、これまで木材搬出等が困難であった森林からの木材搬出が可能となり、コスト削減が期待されます。さらには、共同利用できる路網を整備することにより、利用間伐、主伐及び主伐後の再生林を推進し、地域における森林・林業の活性化に貢献することも期待されます。

岡山森林管理署では、協定者間で事業予定、路網計画等の情報共有を行う運営会議等を開催し、同地区の林業の活性化、森林整備の推進に向けて取り組みます。

## 大又森林整備推進協定に係る現地検討会及び運営会議を開催（三重県）

3月19日、三重森林管理署は、大又森林整備推進協定に係る現地検討会を開催しました。

当日は、熊野市、三重署から計8名が参加し、林業専用道の計画と実行状況、熊野市有林の状況確認、既設林道の現況などの効率的な路網の配置について現地検討を行いました。

会場を移動して、協定者による運営会議では、協定の更新、橋梁の補修計画、国有林の森林整備事業計画（搬出間伐等）、熊野市林業専用道新設の進捗状況等の意見交換を行いました。

意見交換では、国有林からの搬出間伐時期と、熊野市有林内の林業専用道新設工事の期間が重なるため、入札・工事期間等の事前協議が必要であることについて、お互い確認しました。

今後は、効率的な路網整備を図る観点から、既設林道の改良補修を計画的に進めることや、国有林の森林整備事業計画（搬出間伐等）の実施に伴う熊野市林業専用道等の利用、ドローンを活用した森林調査等の現地検討会を行うこととしています。



協定箇所での事業状況を確認



会議室での意見交換会の様子

## 滋賀県と連携した米原市への技術的支援（滋賀県）



米原市伊吹庁舎での意見交換



奥伊吹国有林での捕獲事業説明

4月18日、滋賀森林管理署は、滋賀県、米原市と連携したニホンジカの捕獲に継続して取り組むため、米原市関係者11名が出席して意見交換会を開催しました。

当日は、本意見交換会を開催するにあたり、平成29年度の事業を総括する中で、滋賀県から捕獲の開始前に現地検討を行った方が良いのではないかとこの意見があったことを踏まえ、平成30年度事業の実施前の開催となりました。意見交換会では、地域林政調整官から「ニホンジカの捕獲(案)」について説明しました。また、米原市の担当者の異動があったことから併せて、署長から米原市内の国有林の現況、滋賀署の民国連携の取組や近畿中国森林管理局の重点取組事項について情報提供を行いました。

意見交換では、米原市から「奥山でのシカの食害は、林業だけの問題ではなく表土の流出による市民生活への被害も想定されることから、奥山でのシカ捕獲を何とかできないかと考えている。」との発言がありました。

その後、奥伊吹国有林に移動し、4月16日からシカの誘引試験を開始した8箇所の給餌状況を確認しながら、わなの設置等について意見交換を実施しました。

現地では、3基の大型囲いわなの設置場所の選定方法や給餌方法等についての質問があり、センサーカメラによる誘引状況及び過去のライトセンサスの実施結果等を考慮し設置場所を決定していることやクマの誤捕獲がないように餌を選定すること及び誘引効果を高めるため試験的に導入予定である餌についての説明を行いました。

引き続き、ニホンジカのより効率的な捕獲に向けて、将来の民国連携も見据えつつより地域に貢献するよう取り組んでいきます。

※ライトセンサスとは、夜間に林道や農道を車で低速走行しながら、前方と左右をライトで照射し、哺乳動物の姿や目の反射をもとに種類・頭数を調査する方法です。野生のシカ・イノシシ・ツキノワグマの生息数や分布の把握などに利用される調査方法です。

## 小舟山森林共同施業団地連絡調整会議を開催（鳥取県）

3月7日、鳥取森林管理署は、鳥取県の森林総合監理士及び八頭中央森林組合の担当者をオブザーバーに迎え、若桜町、鳥取水源林整備事務所及び鳥取署による連絡調整会議を開催しました。

会議では、平成29年度事業の実績と平成30年度以降の計画、路網に関する情報提供、協定区域の拡張及び新規協定箇所の設定等について協議しました。

事業の実績等では、当年度は予定どおり実行できたこと、次年度以降の計画に変更が無いことについて確認しました。

協定区域の拡張については、既協定箇所の国有林と接する民有林の集約化により路網整備が進んでいる箇所を候補地とすることとしました。

また新規協定箇所については、衛星画像や図面により、林分の状況、循環路網の実現性等について、意見交換を行いました。

今後は、区域の拡張及び新規協定箇所について、現地踏査を行い、具体化に向けて検討を進めることとしています。



連絡調整会議での協議の様子

林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524 FAX : 06-6881-2055

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

## 編集後記

4月1日付で奈良森林管理事務所から来ました高山です。今月号からフォレスターNEWSを担当することになりました。

民有林と国有林が連携した様々な取り組みを紹介できるよう、関係者からの幅広い情報収集に努めていきますので、何卒よろしくご意見申し上げます。